

医学科

研修の目的

結核対策上、保健所等において公衆衛生に携わる医師と医療機関において臨床に携わる医師の役割は大変重要です。結核の基礎に加え、各コースの対象に応じて行政・臨床に役立つ最新の知識・技術および情報を提供します。また、各地域の結核対策上の課題および今後の方策について協議を重ねたいと思います。

なお、当所研修は日本結核病学会 結核・抗酸菌症認定医・指導医認定制度の単位取得の対象となっています。



研修コース紹介

研修コース名・開催期間	対象	研修内容
医師・対策コース 第1回 平成28年 5月17日～20日	保健所等行政 に携わる医師	結核の基礎から結核対策に関する最新の知識を学ぶための、行政医師向けのコースです。肺結核の診断に必要な胸部X線写真の読影、接触者健康診断、感染症法における対策などの日常の業務に役立つ内容となっております。行政医師はもちろん、地域の結核対策に携わる臨床医などにも受講していただきたいコースとなっております。
医師・対策コース 第2回 平成28年 11月15日～18日		
医師・臨床コース 平成28年 4月28日～30日	結核の診断・治療 に携わる医師	結核の診断、治療、抗酸菌検査などの結核の基礎に関する講義のほか、非結核性抗酸菌症の講義や実際に診療された事例を基にした症例検討など、より臨床に即した実践的な研修となります。結核高度専門医療施設である複十字病院呼吸器内科の医師による講義を中心に、結核診療の最新情報を学ぶことができます。
結核対策合同コース 平成29年 1月17日～25日	医師	結核対策に関する最新情報を盛り込んだ講義と、様々な事例を基にした他職種と合同のグループワークなどを通じて、結核対策への理解を深めていただくコースです。グループワークでの意見交換を重視した内容となっておりますので、自治体や医療機関で結核対策の中核を担っている医師の更なる技術向上の場となる研修となっております。

